

在校生へ手作りのプレゼント

2月9日、三川小学校の6年生41人が竹馬作りを行いました。

地域の皆さんの指導を受けながら、竹に穴をあけたり、足を乗せる台を針金で固定したりして、約50組の竹馬を

完成させました。

この竹馬は、6年生がこれまでの感謝の気持ちを込めて作った卒業制作で、6年生を送る会で在校生にプレゼントされます。



鬼は外！みんな仲良くな〜れ！

2月3日、市内の幼稚園で豆まき会が行われました。

今井幼稚園では、今井小学校の5年生との交流の一環として、一緒に豆まき会を開催。児童たちが節分の話や紙芝居で読み聞かせをした後、学校の畑で

栽培し、炒った豆を園児にプレゼントしました。

児童たちがふんした鬼が登場すると園児たちは、逃げながら豆を投げました。鬼退治後は、一緒に歌やダンスをして楽しいひとときを過ごしました。



新病院建設に向け市民報告会

2月7日、中央公民館で、新病院建設協議市民報告会が行われ、約300人の方が参加しました。

報告会では、協議会でまとまった基本構想やこれまでの経過についての説明のほか、意見交換も実施。建設場所

や土地の取得方法など活発な意見交換が行われました。

また、佐古伊康よしかず元新病院建設協議会会長から「新病院への期待『医療崩壊から学ぶ地域医療のあり方』」をテーマにした講演も行われました。



交流深めた「どまん中交流」

1月31日・2月1日、一泊二日で市内の小学4～6年生の32人が友好都市の長野県塩尻市を訪問し、木曾榑川小学校の児童と交流を深めました。

子どもたちは、雪合戦や雪だるまづくり、そり遊びなど雪国の遊びを体験



したほか、中山道奈良井宿を散策して旧榑川村の歴史も学びました。袋井市と旧榑川村は、東海道と中山道のどまん中という縁で交流を始め、今年で17回目の交流となります。

講談で学ぶ男女共同参画

2月1日、総合センターで「あざれあ地域カレッジin袋井」が開催されました。

講師の宝井琴桜きんおうさんを招き、男女共同参画をテーマにした「山下さんの物語」を披露。張扇はりあふぎを「パンパン」と鳴らしながら、テンポの良い講談を楽しみました。

講談終了後は、来場者とのリレートークや意見交換会も行われ、男女共同参画についての認識を深めました。

参加した方からは「男女共同参画の必要性がよくわかりました。これからの生活に役立てていきたいです」との声が聞かれました。

